

IV

現代的課題対応事業の概要



中原市民館 シニアアカデミー

IV 現代的課題対応事業の概要

地域が抱える緊急の課題に的確に応えることを目指し、教育文化会館・市民館・分館が社会や地域のニーズを適切に調査・研究し、先導的・主導的に実施していく事業として 2008（平成 20）年度から開設している。

1 シニアの社会参加支援事業

いわゆる団塊の世代の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援することを目的に開設した。

地域参加の「はじめの一步」となるように基本的知識や技術を高めながら仲間作りを図ると共に、多様な学習形態により多くの市民が参加できるように工夫した。

Ⅳ 1 シニアの社会参加支援事業

教文 〈先達の活動を体験学習して地域活動を始めよう〉

主 題：地域(まち)の体験って？

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・28	木	色々な分野で活動している地域の先達を講師に招き体験することで地域活動を始めるきっかけをみつけよう	自己紹介 社会参加の楽しさを知る	川崎区文化協会 会長 金岩 勇夫
2	11・11	木		ボランティア活動入門	かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
3	18	木		川崎区の史跡を学ぶ	NPO 法人かわさき歴史ガイド協会
4	25	木		川崎区の史跡を歩く ～妙遠寺ほか	理事長 吉野 智佐雄
5	12・9	木		簡単な料理を学ぶ	料理研究家 米井 智子
6	16	木		健康について学ぶ	舞踏家 黒江 乃理子
7	1・6	木		新春イベントの体験	黒江 乃理子 篠笛奏者 湊 愛子
8	2・12	土		「川崎区市民活動交流フェスティバル」を見学し地域活動の話聞く	職員
9	17	木		幅広い地域活動を学ぶ 振り返り	長野大学 教授 黒沢 惟昭 職員

●開設場所 教育文化会館

●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 関心のあるシニア世代の方

●参加者数 12人(男0人、女12人)

●延べ人数 70人

大師 〈「初心に帰って、孫育て。」～イマドキの子育て事情～〉

主 題：世代間の円滑な人間関係のためにシニアが今時の子育てを学ぶ

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・29	水	時代の変化は頭ではわかっているけど、自分の子育て経験には自信を持っているシニア世代が変わらないもの、変わったものを理解し、子育て世代とうまくつきあうために同じ環境の人同士、困ったときに相談することができるよう仲間づくりを目指す	オリエンテーション・自己紹介 リセット～心構え	職員
2	10・13	水		イマドキの食生活(栄養事情)と生活リズムとは	国立医療科学院 生涯保健部長 加藤 則子
3	27	水		イマドキの遊び、昔の遊び	表現遊びインストラクター 親子遊び研究家 篠 秀夫
4	11・10	水		イマドキのパパの育児参加～絵本は使える	NPO 法人ファザーリング・ジャパン 田中 尚人
5	24	水		イマドキの子育て・孫育て ～ルールとトラブル解消法	WEBサイト「ユウchan」 「孫育て上手」編集長 棒田 明子
6	12・8	水		自信を持って再挑戦～ その時のために心配なことは何ですか	職員

●開設場所 大師分館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 50歳以上の関心のある方

●参加者数 17人(男3人、女14人)

●延べ人数 76人

田島

主 題：「シニアライフをいきいき過ごす」

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・ 5	金	地域デビューの体験に学ぶ	オリエンテーション 地域デビューの実際	元川崎市立商業高校教諭 丸岡 良雄 職員
2	12	金	地域デビューの体験を学ぶ 地域活動の意義と必要性	近隣の地域活動の紹介と現役時代に獲得したスキルを地域へどのように還元するか考える	浜町4丁目町会 丸岡 良雄 会長 青木 常治
3	19	金	地域デビューの体験を学ぶ 生きがいや自己実現につながる活動	学習活動と社会参加が互いに刺激し合って双方共に充実し相乗効果が生まれる事に付いて考える	丸岡 良雄 プラザ田島サークル連絡会 会長 内田 敬一
4	26	金	地域活動の実際	ガイドボランティアの実際	丸岡 良雄 ボランティアガイド
5	12・ 3	金	学習したことの地域への還元	学習活動を楽しむだけでなく社会参加活動を通して成果を活かすことについて	丸岡 良雄
6	10	金			
7	17	金			
8	24	金	今後の地域との関わり方	地域での活動の様子 振り返り	NPO 法人かわさき歴史ガイド協会 理事長 吉野 佐智雄

●開設場所 田島分館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 関心のある方

●参加者数 21人(男6人、女15人)

●延べ人数 93人

幸 〈この町を守るのはわたしたちっ!〉

主 題：目指せ!地域の防犯ボランティア

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12・ 18	土	近年、様々な犯罪が発生し、身近な地域においても被害者が増加している。 個々人の対策はもちろん、住民による地域治安・防犯を維持・改善するために必要な情報や技を学ぶ	オリエンテーション 犯罪社会学の視点から学ぶ地域犯罪	淑徳大学 准教授 山本 功
2	25	土		区内で増加する最近の犯罪事例	幸警察署員 加藤 誠悟 神奈川県くらし安全指導員 奥澤 和加子
3	1・ 8	土		①地域に必要な治安・防犯対策は? ～防犯マップ作成理論編～	東京都安全・安心街づくりアカデミー同窓連絡会 会長 上村 直裕
4	22	土		素人でもこんなにできる! ～先輩ボランティアからのアドバイス～	ナイス亀有ネットワーク 会長 菅谷 篤 鈴木 良子
5	2・ 5	土		②地域に必要な治安・防犯対策は? ～防犯マップ作成実践編～	上村 直裕
6	12	土		まとめ ～被害者へのフォロー～	神奈川県犯罪被害者支援センター 参与 船越 融

●開設場所 幸市民館 他

●時間帯 10:00～12:00 ※第5回のみ10:00～15:00

●対象 原則区内在住の40歳以上の方

●参加者数 9人(男5人、女4人)

●延べ人数 27人

日吉 〈地域の緑化活動に参加しよう〉

主 題：地域で身近なボランティア活動を考えている方々のために

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・5	火	緑化活動を進める重要性と意義	地域の緑化活動の推進について	幸花クラブ 代表 根本 健 職員
2	19	火	草花・植木の特性の学習と管理方法・現場での活動のしかた	植物の手入れについて グループ管理の方法について	
3	11・2	火	寄せ植えの実習と近隣の植樹地域の視察	花の寄せ植えについて 地域の緑化現況を知る	
4	16	火	植木の剪定技術の学習・地域課題の洗い出しと検討	植木の剪定について① 緑化推進上の課題について	
5	30	火	植木の剪定技術の学習・全体のまとめ・これからの活動方針	植木の剪定について② 今後の活動について	

●開設場所 日吉分館・日吉合同庁舎前庭・花壇他

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 原則として50歳以上の関心のある方

●参加者数 7人(男2人、女5人)

●延べ人数 27人

中原 〈シニアアカデミー〉

主 題：輝く人生のために学ぶ 環境・健康・コミュニケーション

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・30	土	シニア世代にとってこれまで関りの薄かった地域・生活課題に「環境・健康」をとりあげて地域課題としての認識を深め、課題解決を目指す	講座の趣旨説明 学級運営について 環境と健康『水』①「くらしと水」	東京農工大学 名誉教授 小倉 紀雄 職員
2	11・6	土		環境と健康『水』② かわさきの水道水ができるまで	上下水道局 水管理センター 職員
3	20	土		環境と健康『水』③ 水道水はどんな水？	
4	27	土		中原区内の公共施設を知る 市民ミュージアム・とどろきアリーナ見学	訪問先施設 職員
5	12・4	土		環境と健康『空気』① 大気汚染と健康～大気質環境基準を中心に	元国立公衆衛生院 院長 横山 栄二
6	18	土		環境と健康『空気』② 川崎市(中原区)の大気環境について	環境局 環境技術情報センター 職員
7	1・22	土		環境と健康『空気』③ 空気清浄機のしくみと効果を知る。細菌・ウイルス・花粉・臭気・化学物質の除去ほか	東北文化学園大学大学院 教授 野崎 淳夫
8	29	土		活動紹介と情報交換 振り返りと話し合い	中原区老人クラブ連合会 会長 岡田 正義 中原市民館サークル連絡会 常任委員 小林 松子

●開設場所 中原市民館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 区内在住・在勤の55歳以上の方

●参加者数 24人(男16人、女8人)

●延べ人数 140人

高津 〈高津伝2～古文書入門講座～〉

主 題：高津区由来のやさしい古文書

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	4・10	土	高津区に由来する比較的簡単な古文書を解説し、高津区で実際に発生した事件について、古文書から読み解く	古文書に慣れるために『百人一首』を読む	NPO 法人高津区文化協会 会長 鈴木 穆
2	24	土			
3	5・5	水		『水騒動明細帳』(溝口水騒動) 森家文書のコピーを読む	
4	16	日			

- 開設場所 高津市民館
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 対 象 50歳以上で古文書初心者
- 参加者数 30人(男15人、女15人)
- 延べ人数 95人

高津 〈この街で私らしくもうひと花咲かせよう〉

主 題：地域で自分らしく生きるため高齢者支援機関や地域施設を知る

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・21	金	安心して学ぶ場作り	今後の学習でグループワーク等を安心して行なえるような和やかな関係作りをする。自分の強みの再発見をする	共育ひろば 主宰 牧岡 英夫
2	28	金	地域のつながりが必要になるとき①	地域の高齢者支援機関を知るために、施設の職員から話しを聞き、安心して暮らせる地域について考える	和楽地域包括支援センター 保健師 水無瀬 雅恵 リ・ケア向ヶ丘地域包括支援センター 看護師 三浦 令子
3	2・4	金	地域のつながりが必要になるとき②	施設見学に向けて、見学の際の注意点や見学のポイントを確認する	(有)コミュニティーサポート ネット 齊藤 千恵
4	2・7 月 2・22 火	月 火	地域のつながりが必要になるとき③	実際に活動している地域の助け合いを知る	NPO 法人ぐるーぷ麦 代表 吉田 歌子 NPO 法人コスモス コミュニティーカフェココデ 代表 横山 典子 高齢者向け配食サービス 主宰 山口 淑子
5	25	金	これからの暮らしについて考える	自分が取組む地域課題(高齢者の居場所作り)について考える	牧岡 英夫

- 開設場所 高津市民館
- 時 間 帯 14:00～16:00
- 対 象 シニア世代
- 参加者数 7人(男0人、女7人)
- 延べ人数 26人

橋 〈街の先生〉

主 題：経験と技術を地域の中で活かす

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・24	金	さまざまな経験・技術を持つシニア世代が、その経験・技術を活かし「街の先生」として地域に関わるための基礎的な学習を行い、「街の先生」として活動しているシニア講師による講習会に参加し、経験と知識を地域に還元し学級を運営する手法を学ぶ。特に地域づくりのキーパーソンとしての役割を担うことを学ぶ	シニアの社会参加支援事業とは学級から地域活動へ	(財)かわさき市民活動センター 仲村 美津子
2				①はじめてのパソコン 9月4日～25日、土曜午後全4回	橋地区在住シニア 講師 高橋 修
3				②雛のつるし飾り～ちりめんのお細工物 9月30日～10月28日、木曜午後全5回	鈴木 晴美
4				③写真機は真(マコト)を写さない 10月26日～11月30日、火曜午後全5回	川口 道明
5				④ワンワン教室・犬の飼い方相談会 11月6日～3月26日、土曜午前全3回	原田 知明
6				⑤こどもハンドチャイム講座 11月7日、日曜午後	柳沢 昌美
7				⑥自彊術～元気は自分で作る 2月3日～23日、木曜午後全4回	猪狩 直代
8	3・17	木		今までの経験を活かして、地域に再デビュー! *震災のため中止	川崎実年ボランティアの会 代表 伊藤 義昭

●開設場所 橋分館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 関心のある方

●参加者数 83人(男18人、女65人)

●延べ人数 227人

●企画委員会 1回

●企画委員 7人

宮前 〈シニアライフを生き生きと〉

主 題：シニアが地域で活躍するためにパート3

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10・1	金	シニア時代を生き生きと過ごすために①	自分に合った生き方って	日本フィランソロピー研究所 所長 渡邊 一雄
2	8	金	老後の暮らしを考える～自宅で～	自宅での老後の過ごし方。知っておきたい介護保険	包括支援センターレストア川崎 内山 信隆
3	15	金	生産的加齢のすすめ	生産的加齢のすすめ	聖徳大学 准教授 斉藤 ゆか
4	22	金	老後の暮らしを考える～施設で～	老人ホーム暮らしの実態と準備しておきたいこと	包括支援センターレストア川崎 滝平 美奈子
5	29	金	地域デビューの進め①	区内の地域活動	自治会長 丸山 幸一 宮前区社会福祉協議会 職員 堀内 剛
6	11・5	金	老後の暮らしを考える	認知症って	聖マリアンナ医科大学認知症治療研究センター 医師 前泊 味音
7	12	金	宮前区の地域医療とホームドクター	地域医療とホームドクターの見つけ方	小野田医院 院長 小野田 昌一
8	19	金	区内の高齢者施設	特別養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム有料老人ホームの違いを知る	各施設職員
9	26	金	見学		
10	12・3	金	地域デビューの進め②	野川の活動にみる高齢者の支え合いに学ぶ	すずの会 会長 鈴木 恵子
11	10	金	シニア時代を生き生きと過ごすために②	まずはじめの一步を	渡邊 一雄
12	2・15	火	観光ガイドボランティア講座との合同研修会	宮前区のドキュメント映画「うつしよの静寂に」上映と製作者トーク	ささらプロ プロデューサー 小倉 恵子 監督 由井 英

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 13:30～15:30

●対象 区内在住の50歳以上の方

●参加者数 27人(男6人、女21人)

●延べ人数 253人

●企画委員会 2回

●企画委員 6人

菅生 〈めざせ! 地域人 先達に学ぼう〉

主 題：市民活動等に関わり地域の人・事・物について新しい発見

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・29	水	地域で気になって いることを探る	自分が普段暮らしている地域に対して感じる「気 になること」を話し合う	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
2	10・6	水	地域の課題や魅力 を発見する	地域活動の面白さや直面している課題について の、生の情報に触れる	黒澤 勝巳・黒澤 裕子
3	13	水		地域で活動している方々の話。活動のきっかけや 長く続けている秘訣を聞く	水沢森人の会 竹迫 和代
4	20	水	現場訪問で感じ考 えた事を話し合う	異なる考え方をまとめていき、体験を通して一つ のことに取り組む機会に	竹迫 和代
5	27	水	「想い」の翼を広げ よう～私の活動計画	こんなことを地域でやってみたいと思うテーマに ついて掘下げる	
6	11・10	水	次のステップを見つ けよう～地域活動	次のステップを見つけ地域での活動実情や実践 ノウハウを学ぶ	田園調布学園大学 教授 村井 祐一

- 開設場所 菅生分館
- 対 象 関心のある方
- 延べ人数 51人
- 時 間 帯 10:00～12:00
- 参加者数 11人(男4人、女7人)

多摩 〈地域参加のすすめ〉

主 題：コミュニケーションについて学び地域とつながる自分を考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11・7	日	傾聴力がコミュニ ケーションに与える	コミュニケーションの大切さを考える	飯田橋カウンセリングルーム COSMOS 平井 智子
2	14	日	効果について学び	傾聴を知る①	NPO 法人ホールファミリーケア 協会 事務局長 山田 豊吉
3	20	土	地域のなかでより良 い人間関係を築くこ とができるよう考え る機会とする。また 地域参加が個人 にもたらす効果を学 ぶことにより積極的 な参加を促す	傾聴を知る②	
4	28	日		高齢余暇を充実させるためには	桜美林大学 名誉教授 瀬沼 克彰
5	12・5	日		講座の振り返り 地域とつながる自分を考える	職員

- 開設場所 多摩市民館
- 対 象 概ね40歳以上の方
- 延べ人数 40人
- 時 間 帯 13:00～15:00
- 参加者数 14人(男5人、女9人)

多摩 〈誰もが毎日をおいしく〉

主 題：誰もが毎日をおいしく食べられる社会の実現に向けて

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1・30	日	高齢者の食と栄養、 安全について学び	オリエンテーション 高齢者に必要な栄養とは	首都大学東京大学院 助教 渡邊 容子
2	2・13	日		配食活動に向けた	高齢者に必要な栄養バランスを考えた食事づくり
3	19	土	基礎知識を得る	食と安全 添加物について考える	東京大学大学院 助教 佐藤 健太郎
4	3・6	日	地域の団体の体験 を聞き実践につい て学び配食や会食 会活動への参加を 促す	食に関わる地域の活動を知る	あうん介護センター 所長 吉澤 保 川崎市食生活改善推進委員会 副会長 小川 町子
5	20	日		地域の活動に参加するには	たすけあい多摩 青山 幸子 職員

- 開設場所 多摩市民館
- 対 象 概ね40歳以上の方
- 延べ人数 82人
- 時 間 帯 13:30～15:30
- 参加者数 28人(男10人、女18人)

麻生 〈シニアの社会参加支援事業 (1)〉

主 題：市民館ナビゲーター養成講座 II

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7・ 7	水	生涯学習相談に求められる基礎的な	生涯学習支援と市民館ナビゲーター ～地域における生涯学習とは？	文教大学大学院 教授 平沢 茂
2	14	水	資質やコーディネート能力、コミュニケーション能力を高め、情報収集・情報提供・相談対応ができる市民館の学習相談ボランティアを養成する	実際の学習情報提供と学習相談① 相模原市の事例研究	相模原市総合学習センター 生涯学習推進員 渡辺 正
3	23	金		学習相談の実際 ～カウンセリングの手法から相談のスキルを学ぶ	育英短期大学 教授 森川 澄男
4	8・ 4	水		実際の学習情報提供と学習相談② 神奈川県学習情報提供と学習相談	神奈川県生涯学習情報センター 学習相談員 三浦 知子
5	11	水		これからの学習相談・地域活動支援に求められるもの	多摩市民館 社会教育主事 中村 高明

- 開設場所 麻生市民館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 概ね50歳以上で関心のある方
- 参加者数 13人(男7人、女6人)
- 延べ人数 52人
- 企画委員会 3回
- 企画委員 5人

麻生 〈シニアの社会参加支援事業 (2)〉

主 題：シニアの暮らし方～安心・快適な住み替えを考える

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9・ 2	木	核家族の増加や地域コミュニティの希薄化等社会的変化を考え「住まい」をテーマに知識の習得をし、地域の課題を解決できる人材を育てる	シニアの安全で安心な生活環境の確保とは	シニアライフ情報センター 小瀬 有明子
2	16	木		シニアライフの変化について～シニアの住まい方の事例と課題	タムラプランニング & オペレーティング 田村 明孝
3	10・ 14	木		高齢者専用賃貸住宅の実際をみる(グランクレール美しが丘)	東急不動産株式会社 社員
4	11・ 4	木		麻生区で食と農を軸としたコミュニティづくりをめざす施設を見学	NPO 法人オアシスらんど 内野 和博
5	25	木		地域で支え合うネットワークづくりについて考える	社会福祉士 川内 潤 事例発表者2人

- 開設場所 麻生市民館 他
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 概ね50歳以上の方
- 参加者数 48人(男15人、女33人)
- 延べ人数 183人
- 企画委員会 8回
- 企画委員 3人

岡上 〈地域デビュー!ってどうするの?～初心者講座～〉

主 題：関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるように

回	月日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2・ 2	水	ボランティアとは何か、具体的な解説を聞き、実際の活動や体験を知る。シニア世代の生き方の概要を学ぶ	ボランティアって何? ～ボランティアというものを理解しましょう～	人間学博士(臨床心理士) 石井 栄子
2	9	水		ボランティア活動って? ～ボランティア活動を具体的に理解しましょう～	
3	13	日		ボランティア活動場見学 ～梨子ノ木緑地保全地区見学～	NPO 法人かわさき自然と共生の会 代表理事
	16	水		先輩に聞く! ～実際に活動している方から体験談を聞く～	鎌谷 衛
5	23	水		これからの生き方講座 ～シニア世代の生き方を学ぶ～	学習院大学 講師 田中 俊之

- 開設場所 岡上分館
- 時間帯 10:00～12:00
- 対象 区内在住の概ね50歳以上の方
- 参加者数 21人(男2人、女19人)
- 延べ人数 65人

